

エコアクション21

環境経営レポート

(期間 2023年12月 ~ 2024年11月)



永瀬ダム(浚)第1-9号 永瀬ダム緊急浚渫推進工事

発行年月日 2025年2月28日



有限会社 中山建設工業

高知県香美市土佐山田町宝町2丁目7番6号

TEL 0887-52-5410

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針	4
4. 環境管理組織体制	5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	6
6. 環境経営目標	7
7. 環境経営計画	8
8. 環境経営目標の実績	9
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	18
10. 次年度の取組内容	22
(1) 環境経営目標	
(2) 環境経営計画	
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	24
12. 代表者による全体評価と見直し指示の結果	25

発行日：2025年2月28日

発行責任者：代表取締役 中山達夫

次回発行予定：2026年 2月頃

1. 組織の概要

【事業者名】 有限会社中山建設工業

【代表者氏名】 代表取締役 中山 達夫

【所在地】

本社 〒782-0034 高知県香美市土佐山田町宝町2丁目7番6号
倉庫 〒782-0045 高知県香美市土佐山田町字黒土2901-3
資材置場 〒782-0025 高知県香美市土佐山田町松本字北野359番1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 中山 靖博
連絡先担当者 中山 靖博
連絡先 TEL : 0887-52-5410
FAX : 0887-52-5482
E-mail : t-nakayamakenkou@shirt.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に一般土木等の工事を行っています。）

建設業許可 特定建設業
許可番号 高知県知事 許可(特-2)第397号
許可年月日 令和2年9月26日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和48年 3月設立
資本金 28,000千円

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
完成工事高 (百万円)		97	176	116	202	263
従業員数 (名)		12	12	12	12	13
事業所敷地面積 (m ²)	本社	97.37	97.37	97.37	97.37	97.37
	倉庫	156.53	156.53	156.53	156.53	156.53
	資材置場	1,317.00	1,317.00	1,317.00	1,317.00	1,317.00
事業所延べ床面積 (m ²)	本社	97.37	97.37	97.37	97.37	97.37
	倉庫	138.05	138.05	138.05	138.05	138.05

会計年度 12月～11月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社中山建設工業 全社(全活動、全組織、全従業員)

- 対象事業所

本社	高知県香美市土佐山田町宝町2丁目7番6号
倉庫	高知県香美市土佐山田町字黒土2901-3
資材置場	高知県香美市土佐山田町松本字北野359番1

- 事業活動

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業)

【レポートの対象期間】

2023年12月～2024年11月

【環境経営レポートの発行日】

2025年2月28日

【次回環境経営レポートの発行予定日】

2026年2月予定

【作成責任者】

環境管理責任者 中山 靖博

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化
16	平和と公正をすべての人に	○	環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	環境教育、清掃活動など

3.環境経営方針

環境経営理念

有限会社中山建設工業は、高知県香美市を中心に建設事業を営んでいます。
自然と調和した地域社会構築に向けて、社員一人ひとりが環境意識を持ち、
建設事業による環境への影響を考慮し、環境負荷低減を行い、継続的改善による
環境経営を推進していきます。

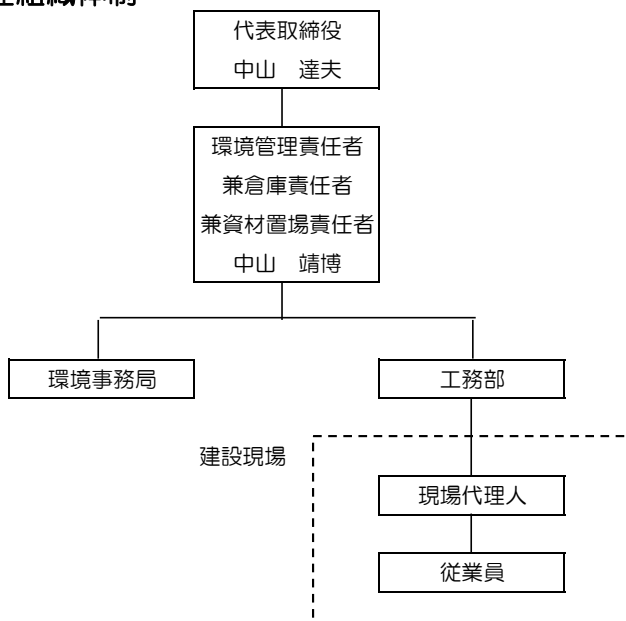
環境経営方針

1. 環境関連法規制等を遵守します。
2. 建設機械、車輛等の燃料使用量の抑制により二酸化炭素排出量を削減します。
3. 電力使用量の抑制により二酸化炭素の排出量を削減します。
4. 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
5. 建設工事における騒音、振動、粉塵、濁水の低減を図ります。
6. 環境に配慮した工事、環境負荷の少ない工事を実施します。また環境負荷の少ない資材の使用を促進します。
7. 水使用量を削減します。
8. グリーン購入を促進します。
9. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
10. 環境経営方針を全従業員に周知します。
11. 環境経営レポートを作成し、外部に環境情報として公表します。

改定日 令和3年12月1日

代表取締役 中山 達夫

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 - 代表者による全体評価と見直し指示の実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 兼倉庫責任者 兼資材置場責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 - 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開
工務部	- 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 - 自部門に關係する環境経営計画の実施、達成状況報告 - 自部門に關係する緊急事態訓練の実施 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- ガソリン、軽油、CO₂、上水、産業廃棄物について、環境経営目標を達成できました。
- 電力使用量の削減については、不使用時のパソコンの電源OFFを行いました。
- 一般廃棄物排出量の削減については、両面印刷・両面コピーを徹底して行いました。
- 環境負荷の少ない工事は、全現場で実施できました。

<有限会社中山建設工業の物質フロー>（2024年度）



6. 環境経営目標(2024年度)

(1) 単年度目標 (原単位目標)

項目	総 量		基準年 2020～2022年度 売上高 (百万円)	原単位(売上百万円当り)		
	単位	基準年 2020～2022年度 2019.12-2022.11		単位	基準年 2020～2022年度 2019.12-2021.11	2024年度 目標 2023.12～2024.11
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ)	7,054.54	130	(ℓ/百万円)	54.27	53.00
軽油使用量	(ℓ)	31,369.55	130	(ℓ/百万円)	241.30	240.00
電力使用量	(kWh)	5,513.00	130	(kWh/百万円)	42.41	41.00
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	100,256.39	130	(kg-CO ₂ /百万円)	771.20	770.00
水使用量	(m ³)	84.83	130	(m ³ /百万円)	0.65	0.64
一般廃棄物排出量	(kg)	295.33	130	(kg/百万円)	2.27	2.10
産業廃棄物排出量	(t)	500.27	130	(t/百万円)	3.85	3.70
産業廃棄物再資源化率	(%)	100.00	130	(%)	100.00	100.00
グリーン購入	(%)	36.17	130	(%)	36.17	38.00
環境負荷の少ない工事	(%)	100.00	130	(%)	100.00	100.00

* 1. 購入電力のCO₂排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO₂/kWhを使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○騒音、振動、粉塵、濁水防止対策の実施

* 4. 化学物質は使用していないので、目標対象外

(2) 中長期目標

項目	単位	基準年 2020～2022年度 2019.12-2022.11	2025年度 目標 2024.12～2025.11	2026年度 目標 2025.12～2026.11	2027年度 目標 2026.12～2027.11	2028年度 目標 2027.12～2028.11
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ/百万円)	54.27	52.00	51.00	50.00	49.00
軽油使用量	(ℓ/百万円)	241.30	239.00	238.00	237.00	236.00
電力使用量	(kWh/百万円)	42.41	40.00	39.00	38.00	37.00
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	771.20	769.00	768.00	767.00	766.00
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.65	0.63	0.62	0.61	0.60
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	2.27	2.00	1.90	1.80	1.70
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	3.85	3.60	3.50	3.40	3.30
産業廃棄物再資源化率	(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
グリーン購入	(%)	36.17	39.00	40.00	41.00	42.00
環境負荷の少ない工事	(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

7. 環境経営計画 (2024年度)
期間：2023年12月～2024年11月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量	排出ガス対策型機械の使用	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
	削減	車両の急発進・急停止・急加速の禁止	環境管理責任者	2024年11月30日
	電力使用量	空調の適温化(冷房28℃ 暖房20℃)の徹底	環境事務局	2024年11月30日
	削減	不使用時のパソコンの電源OFF	環境事務局	2024年11月30日
水使用量削減		漏水点検の実施	環境事務局	2024年11月30日
		車両の洗車時に水の流しっ放しにしない	環境事務局	2024年11月30日
廃棄物削減	一般廃棄物	両面印刷・両面コピーの実施	環境管理責任者、 環境事務局	2024年11月30日
		FAXは必要なものだけ印刷する	環境管理責任者、 環境事務局	2024年11月30日
		コピー用紙の裏紙使用	環境管理責任者、 環境事務局	2024年11月30日
	産業廃棄物	分別を徹底し、再生利用を行う	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		廃棄物を減らし、リサイクル率を上げる	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
グリーン購入		エコマーク・グリーン製品の優先的使用	環境事務局	2024年11月30日
環境負荷の少ない工事の実施		低騒音・排出ガス対策型の重機を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		現場付近の騒音、振動、粉塵、濁水対策を行う	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		環境負荷の少ない材料を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		県内産の間伐材を使用した型枠、工事看板を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日
		ICT技術の施工による効率化	環境管理責任者、 現場代理人	2024年11月30日

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020～2022年度 2019.12-2022.11	2024年度 目標 2023.12-2024.11	2024年度 実績 2023.12-2024.11	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	130		263		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,054.54		5,866.22		
	原単位	(ℓ/百万円)	54.27	53.00	22.31	42.08%	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	31,369.55		21,066.73		
	原単位	(ℓ/百万円)	241.30	240.00	80.10	33.38%	○
電力使用量	総量	(kWh)	5,513.00		5,182.00		
	原単位	(kWh/百万円)	42.41	41.00	19.70	48.06%	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	100,256.39		70,734.16		
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	771.20	770.00	268.95	34.93%	○
水使用量	総量	(m ³)	84.83		163.50		
	原単位	(m ³ /百万円)	0.65	0.64	0.62	97.14%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	295.33		324.00		
	原単位	(kg/百万円)	2.27	2.10	1.23	58.66%	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	500.27		428.67		
	原単位	(t/百万円)	3.85	3.70	1.63	44.05%	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	○
グリーン購入量	総量	(%)	36.17	38.00	39.80		○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.00	100.00	14件/14件	100.00	○

* 1. 購入電力のCO₂排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO₂/kWhを使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○騒音、振動、粉塵、濁水防止対策の実施

* 4. 化学物質は使用していないので、目標対象外。

* 5. 評価は、「○」、「×」で評価する。

* 6. 目標比率=実績値/目標値×100、100%<×、100%≥○

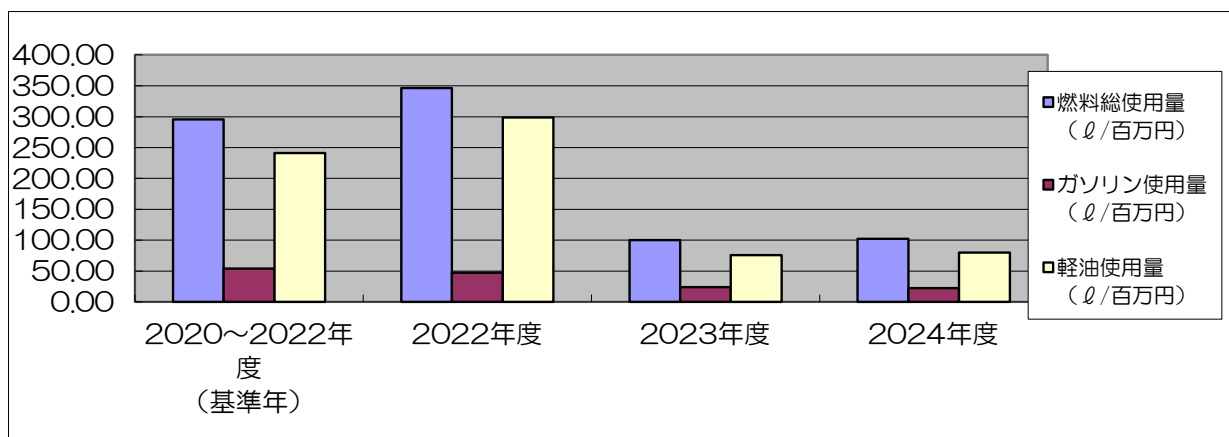
＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020～2022年度 実績（3か年平均）	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
売上高		百万円	130	176	116	202	263
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	7,054.54	7,419.73	5,483.52	4,884.00	5,866.22
	原単位	（ℓ/百万円）	54.27	42.16	47.27	24.18	22.31
軽油使用量	総量	（ℓ）	31,369.55	25,699.00	34,679.60	15,323.90	21,066.73
	原単位	（ℓ/百万円）	241.30	146.02	298.96	75.86	80.10
電力使用量	総量	（kWh）	5,513.00	5,678.00	5,928.00	5,190.00	5,182.00
	原単位	（kWh/百万円）	42.41	32.26	51.10	25.69	19.70
CO ₂ 排出量	総量	（k g－CO ₂ ）	100,256.39	86,554.92	105,366.61	53,643.19	70,734.16
	原単位	（k g－CO ₂ /百万円）	771.20	491.49	908.33	265.56	268.95
水使用量	総量	（m3）	84.83	84.00	86.50	87.00	163.50
	原単位	（m3/百万円）	0.65	0.48	0.75	0.43	0.62
一般廃棄物排出量	総量	（k g）	295.33	288.00	324.00	324.00	324.00
	原単位	（k g/百万円）	2.27	1.64	2.79	1.60	1.23
産業廃棄物排出量	総量	（t）	500.27	188.78	1,163.20	120.23	428.67
	原単位	（t/百万円）	3.85	1.07	10.03	0.60	1.63
産業廃棄物再資源化率	総量	（%）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
グリーン購入	総量	（%）	36.17	39.50	29.50	37.50	39.80
環境負荷の少ない工事	総量	（%）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

燃料使用量実績

2024年度目標			
原単位（売上百万円当り）	：（全体）	293.00	ℓ/百万円
	ガソリン	53.00	ℓ/百万円
	軽油	240.00	ℓ/百万円

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
燃料総使用量 （ℓ/百万円）	295.57	346.23	100.04	102.41
ガソリン使用量 （ℓ/百万円）	54.27	47.27	24.18	22.31
軽油使用量 （ℓ/百万円）	241.30	298.96	75.86	80.10



燃料使用量の状況（2024年度）

全体： 目標値を達成できたので、引き続き活動を継続していく。

ガソリン： 目標値を達成できたので、引き続き活動を継続していく。

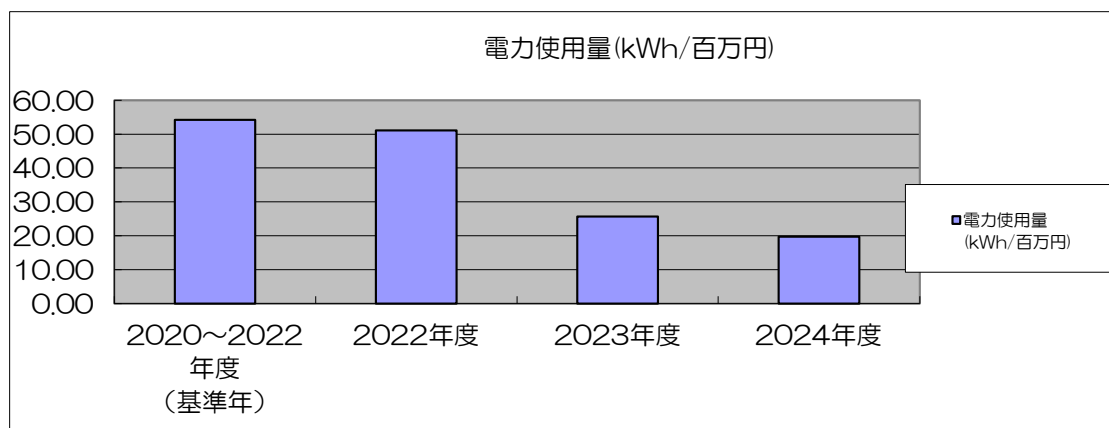
軽油： 軽油の使用量が少ない工事を受注したため、目標に対して使用量が少ない。

電力使用実績

2024年度目標

原単位（売上百万円当り）：41.00 kWh/百万円

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量 (kWh/百万円)	54.27	51.10	25.69	19.70



電力使用量の状況（2024年度）

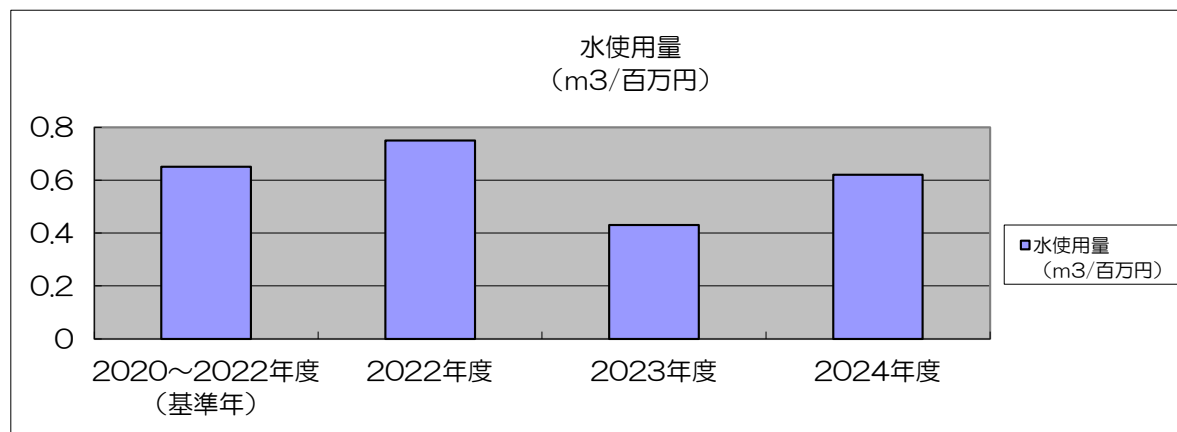
目標値を達成できたので、引き続き活動を継続していく。

水使用量実績

2024年度目標

原単位（売上百万円当り）： 0.64（m3/百万円）

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
水使用量 （m3/百万円）	0.65	0.75	0.43	0.62



水使用量の状況（2024年度）

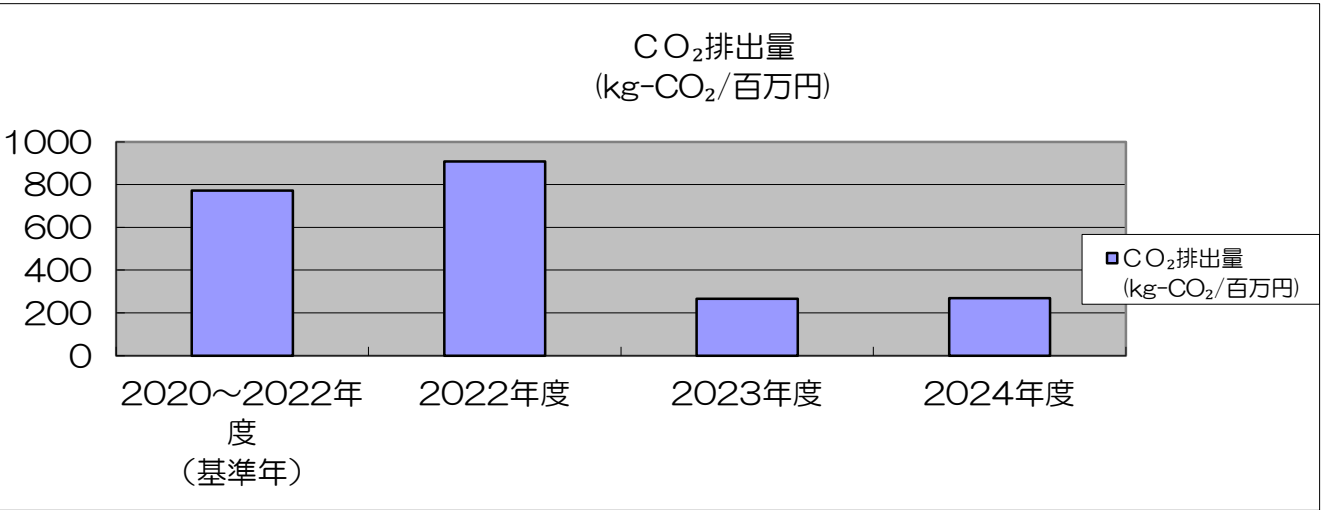
目標を達成できた。

CO₂ 排出量実績

2024年度目標

原単位（売上百万円当り）：770.00 (kg-CO₂/百万円)

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)	771.2	908.33	265.56	268.95



CO₂ 排出量の状況（2024年度）

軽油の使用量の少ない工事を受注したため、排出量は少ない。

廃棄物排出量実績

2024年度目標

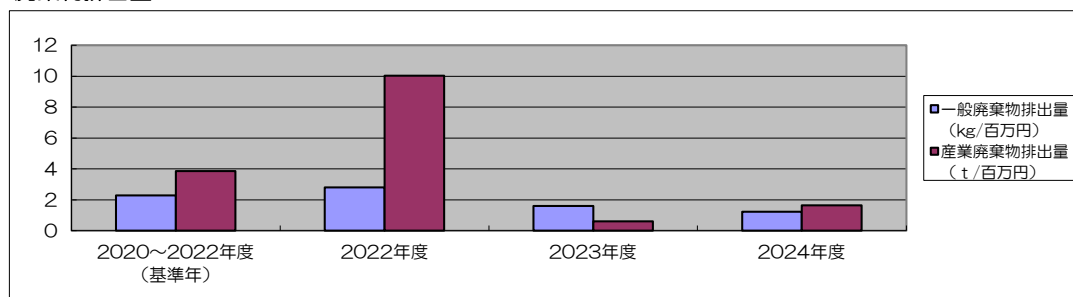
原単位：

(売上百万円当り)	一般廃棄物	2.10 kg/百万円
	産業廃棄物	3.70 t/百万円
	産業廃棄物再資源化率	100 %

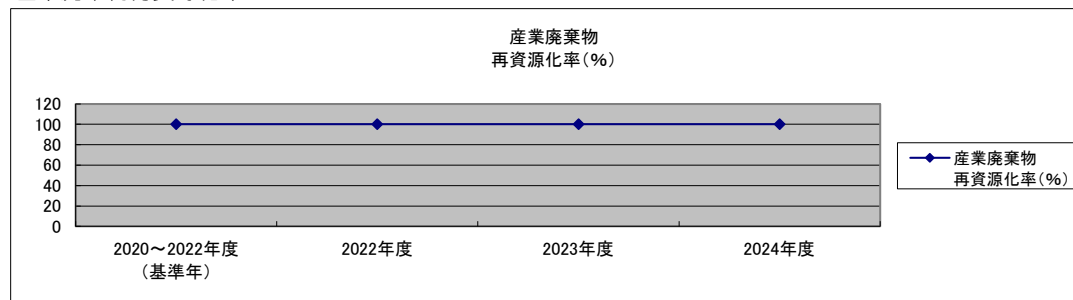
項目	2020～2022年度 (基準年)	2022年度	2023年度	2024年度
一般廃棄物排出量 (kg/百万円)	2.27	2.79	1.60	1.23
産業廃棄物排出量 (t/百万円)	3.85	10.03	0.60	1.63

項目	2020～2022年度 (基準年)	2022年度	2023年度	2024年度
産業廃棄物 再資源化率 (%)	100	100	100	100

廃棄物排出量



産業廃棄物再資源化率



廃棄物排出量の状況（2024年度）

○一般廃棄物排出量 目標値を達成できている。

○産業廃棄物排出量 目標を達成できた。産業廃棄物が少ない工事を受注したため、排出量は少ない。

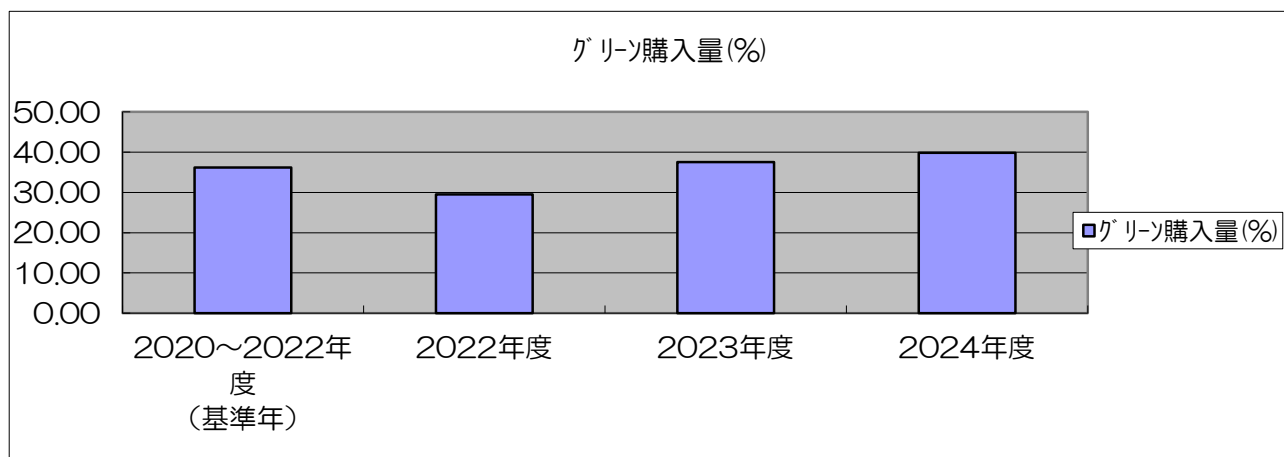
○産業廃棄物再資源化率 目標値を達成できている。

グリーン購入実績

2024年度目標

グリーン購入比率（事務用品）：38.00 %

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
グリーン購入量（%）	36.17	29.50	37.50	39.80



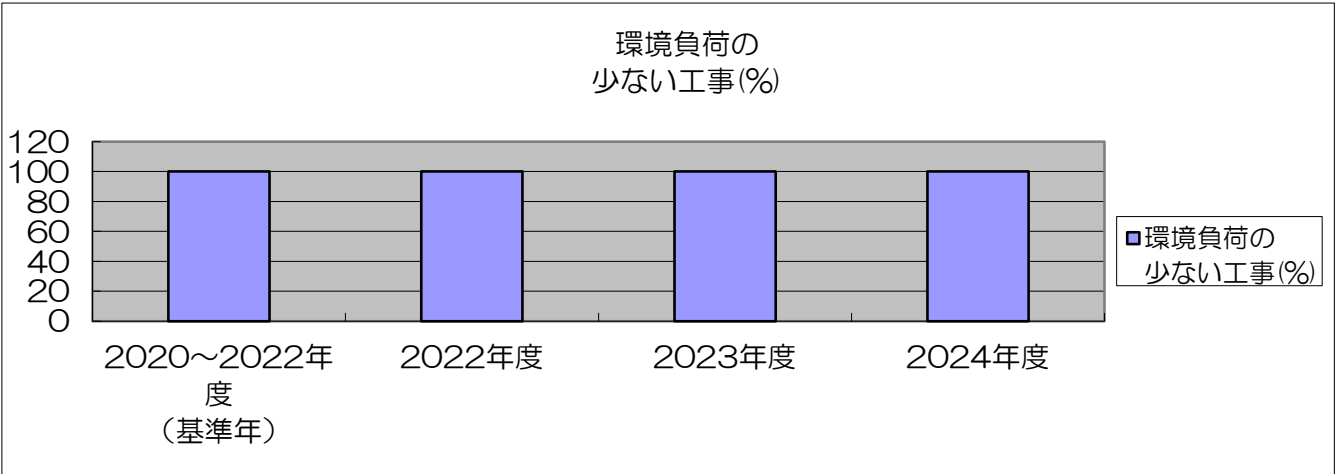
グリーン購入量の状況（2024年度）

目標値を達成できている。

環境負荷の少ない工事实績

2024年度目標		
環境負荷の少ない工事（％）	：	100 ％

項目	2020～2022年度 （基準年）	2022年度	2023年度	2024年度
環境負荷の 少ない工事(%)	100	100	100	100



環境負荷の少ない工事実施状況（2024年度）

14件すべての工事で目標を達成できた。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年12月 ～ 2024年11月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量	燃料使用量	排出ガス対策型機械の使用	全ての現場で、排出ガス対策型バックホウを使用。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
削減	削減	車両の急発進・急停止・急加速の廃止	実施できていた。	○	
	電気使用量	空調の適温化(冷房28℃ 暖房20℃)の徹底	実施できていた。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
	削減	不使用時のパソコンの電源OFF	実施できていた。	○	
水使用量削減		漏水点検の実施	周知徹底を図れていた。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
		車両の洗車時に水の流しっ放しにしない	実施できていた。	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	両面印刷・両面コピーの実施	実施できた。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
		FAXは必要なものだけ印刷する	実施できた。	○	
		コピー用紙の裏紙使用	実施できた。	○	
	産業廃棄物	分別を徹底し、再生利用を行う	実施できた。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
		廃棄物を減らし、リサイクル率を上げる	実施できた。	○	
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	実施できた。	○	
グリーン購入		エコマーク・グリーン製品の優先的使用	一般製品と値段の差が5%以内のものについては実施できた。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
環境負荷の少ない工事実施		低騒音・排出ガス対策型の重機を使用する	全ての現場で、低騒音・排出ガス対策型バックホウを使用。	○	数値目標も達成し、取り組みも確実に実施できたため、見直しはない。
		現場付近の騒音、振動、粉塵、濁水対策を行う	実施できた。(騒音、振動、粉塵)	○	
		環境負荷の少ない材料を使用する	再生砕石などの環境負荷の少ない材料を使用した。	○	
		県内産の木製看板を使用する	実施できた。	○	
		ICT技術の施工による効率化	MC建設機械を使用して、測量の手間を削減できた。	○	

凡例：○取り組みが出来た。

△不十分。

×出来なかった。

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



車両の更新

2024年6～8月に車両3台を更新しました。
燃費基準+10%車を使用して軽油燃料使用量の削減に努めています。



(2) 電力使用量削減



不使用時のパソコンの電源OFF

不使用時のパソコンの電源OFFの
周知徹底をはかっています。

2. 用水使用量の削減



漏水点検の実施

漏水がないかの点検を毎月実施しています。

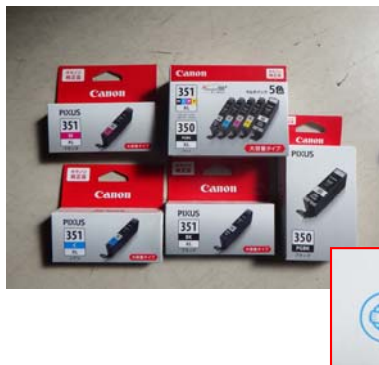
3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



FAXは必要なものだけ印刷する
不要なものは印刷しません。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入
事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。
対象商品：コピー用紙、ファイル類、インク類
ふせん、ボールペン

5. 環境負荷の少ない工事実施



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：永瀬ダム(浚)第1-9号 永瀬ダム緊急浚渫推進工事
工事期間：2023月11月29日 ～ 2024年7月25日
工事場所：高知県香美市物部町仙頭外
低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



現場付近の清掃活動

工事名称：道交国防安(改築)第602-008-7号 国道195号 防災・安全交付金工事
工事期間：2024月9月22日 ～ 2025年3月25日
工事場所：高知県香美市土佐山田町佐野
現場周辺の神社への参道を清掃しました。



環境負荷の少ない材料を使用する

工事名称：道交国防安(改築)第602-008-7号 国道195号 防災・安全交付金工事
工事期間：2024月9月22日 ～ 2025年3月25日
工事場所：高知県香美市土佐山田町佐野
ボックスカルバートの基礎砕石の材料は、再生砕石のRC-40を使用しました。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称：河高潮第38-3号 岸本海岸高潮対策工事
 工事期間：2024月3月5日 ～2024年11月4日
 工事場所：高知県香南市香我美町岸本
 工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



ICT技術の施工による効率化

工事名称：永瀬ダム(浚)第1-9号 永瀬ダム緊急浚渫推進工事
 工事期間：2023月11月29日 ～2024年7月25日
 工事場所：高知県香美市物部町仙頭外
 マシンコントロール建設機械により生産性が向上し、軽油使用量を削減させました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

県道土佐山田野市線、宮ノ口深淵線、神母ノ木野市線の3路線について、環境美化活動としてゴミ拾いをおこないました。（年12回実施）

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標 (2025年度)

(1) 単年度目標 (原単位目標)

項目	総 量		基準年 2020~2022年度 売上高 (百万円)	原単位 (売上百万円当り)		
	単位	基準年 2020~2022年度 2019.12-2022.11		単位	基準年 2020~2022年度 2019.12-2021.11	2025年度 目標 2024.12~2025.11
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ)	7,054.54	130	(ℓ/百万円)	54.27	52.00
軽油使用量	(ℓ)	31,369.55	130	(ℓ/百万円)	241.30	239.00
電力使用量	(kWh)	5,513.00	130	(kWh/百万円)	42.41	40.00
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	100,256.39	130	(kg-CO ₂ /百万円)	771.20	769.00
水使用量	(m ³)	84.83	130	(m ³ /百万円)	0.65	0.63
一般廃棄物排出量	(kg)	295.33	130	(kg/百万円)	2.27	2.00
産業廃棄物排出量	(t)	500.27	130	(t/百万円)	3.85	3.60
産業廃棄物再資源化率	(%)	100.00	130	(%)	100.00	100.00
グリーン購入	(%)	36.17	130	(%)	36.17	39.00
環境負荷の少ない工事	(%)	100.00	130	(%)	100.00	100.00

* 1. 購入電力におけるCO₂排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO₂/kWhを使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料 (リサイクル材、県産品等) の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○騒音、振動、粉塵、濁水防止対策の実施

* 4. 化学物質は使用していないので、目標対象外

(2) 中長期目標

項目	単位	基準年 2020~2022年度 2019.12-2022.11	2026年度 目標 2025.12~2026.11	2027年度 目標 2026.12~2027.11	2028年度 目標 2027.12~2028.11	2029年度 目標 2028.12~2029.11
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ/百万円)	54.27	51.00	50.00	49.00	48.00
軽油使用量	(ℓ/百万円)	241.30	238.00	237.00	236.00	235.00
電力使用量	(kWh/百万円)	42.41	39.00	38.00	37.00	36.00
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	771.20	768.00	767.00	766.00	765.00
水使用量	(m ³ /百万円)	0.65	0.62	0.61	0.60	0.59
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	2.27	1.90	1.80	1.70	1.60
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	3.85	3.50	3.40	3.30	3.20
産業廃棄物再資源化率	(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
グリーン購入	(%)	36.17	40.00	41.00	42.00	43.00
環境負荷の少ない工事	(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(2)環境経営計画

(2025年度)

期間：2024年12月～2025年11月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量	※重機、車両のアイドリングストップ	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
	削減	車両の急発進・急停止・急加速の禁止	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
	電力使用量	※昼休み・帰宅時の消灯	環境事務局	2025年11月30日
	削減	不使用時のパソコンの電源OFF	環境事務局	2025年11月30日
水使用量削減		漏水点検の実施	環境事務局	2025年11月30日
		車両の洗車時に水の流しっ放しにしない	環境事務局	2025年11月30日
廃棄物削減	一般廃棄物	※印刷前の文章チェック	環境管理責任者、 環境事務局	2025年11月30日
		FAXは必要なものだけ印刷する	環境管理責任者、 環境事務局	2025年11月30日
		コピー用紙の裏紙使用	環境管理責任者、 環境事務局	2025年11月30日
	産業廃棄物	分別を徹底し、再生利用を行う	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		廃棄物を減らし、リサイクル率を上げる	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
グリーン購入		エコマーク・グリーン製品の優先的使用	環境事務局	2025年11月30日
環境負荷の少ない工事の実施		低騒音・排出ガス対策型の重機を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		現場付近の騒音、振動、粉塵、濁水対策を行う	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		環境負荷の少ない材料を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		県内産の間伐材を使用した型枠、工事看板を使用する	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日
		ICT技術の施工による効率化	環境管理責任者、 現場代理人	2025年11月30日

※新規追加活動

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約書	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
	規則第8条	〇保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工事責任者	遵守	2024年12月20日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	〇建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 〇建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	工事責任者	遵守	2024年12月20日
	第9条 第10条	〇分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 〇対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	工事責任者	該当なし	2024年12月20日
騒音規制法	第5条	〇騒音規制基準の遵守	必要時	工事責任者	該当なし	2024年12月20日
	第14条	〇特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工事責任者	該当なし	2024年12月20日
振動規制法	第5条	〇振動規制基準の遵守	必要時	工事責任者	該当なし	2024年12月20日
	第14条	〇特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工事責任者	該当なし	2024年12月20日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第19条	〇事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO ₂ -t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	環境管理責任者	該当なし	2024年12月20日
	第5条	〇定期点検記録の実施 エアコン：3.7kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 空調機の簡易点検記録の実施	1回／3年 1回／年 4回／年	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
高知県環境基本条例	第6条	〇事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
高知県清流保全条例	第2条	〇事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年12月20日
香美市火災予防条例	第31条	〇少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1／5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	環境管理責任者	該当なし	2024年12月20日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年12月より2024年11月まで、環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、外部からの環境に関する苦情はありませんでした。過去3年間にわたって、関係当局より違反等の指摘はありません。

12. 代表者による全体評価と見直し指示の結果

■定期見直し
□臨時見直し

令和6年12月20日
代表取締役 中山達夫

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																					
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																					
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等に関しての違反・訴訟なし。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特になし。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 取組を継続して実施した結果、全ての環境目標を達成できた。 ④月別エネルギー使用状況(月間年平均値を3割超えた理由) 事務所の電力： 繁忙期の室内作業の増加。 事務所のガソリン： 箱バンによる発注者機関への往復回数が増加。 現場のガソリン 箱バンによる現場への往復回数が増えたため。 現場の軽油： 重機を1日中使用する土工が多かったため。 <改善提案> 特になし。 【目標・環境経営計画の達成状況】 <table><thead><tr><th>目標項目</th><th>目標値 達成状況</th><th>活動計画 達成状況</th><th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th></tr></thead><tbody><tr><td>CO₂削減</td><td>○</td><td>○</td><td>目標値達成、活動も実施されている。</td></tr><tr><td>水使用量削減</td><td>○</td><td>○</td><td>目標値達成、活動も実施されている。</td></tr><tr><td>廃棄物削減</td><td>○</td><td>○</td><td>目標値達成、活動も実施されている。</td></tr><tr><td>グリーン購入</td><td>○</td><td>○</td><td>目標値達成、活動も実施されている。</td></tr><tr><td>環境負荷の少ない工事</td><td>○</td><td>○</td><td>目標値達成、活動も実施されている。</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <改善提案> なし。 【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 環境に関する苦情はありません。 ②環境関連法規制等の動向他 特になし。 <改善提案> 特になし。				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	CO ₂ 削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。	水使用量削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。	廃棄物削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。	グリーン購入	○	○	目標値達成、活動も実施されている。	環境負荷の少ない工事	○	○	目標値達成、活動も実施されている。													【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 環境経営方針は、令和3年12月1日に見直しを行い、現時点では変更の必要性はない。 【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： □有 ■無 環境経営目標は、全て達成できた。 環境経営計画の取組は確実に実施されているため、来年度以降も引き続き取組を継続して実施していく。 【実施体制】 変更の必要性： □有 ■無 環境管理組織体制は有効に機能しており、現時点では変更の必要性はない。 【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 引き続き取組を継続して実施していくこと。 環境経営システムは有効に機能しており、環境経営方針・環境経営目標・環境管理組織体制の見直しはない。	
				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																		
				CO ₂ 削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。																																		
水使用量削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。																																						
廃棄物削減	○	○	目標値達成、活動も実施されている。																																						
グリーン購入	○	○	目標値達成、活動も実施されている。																																						
環境負荷の少ない工事	○	○	目標値達成、活動も実施されている。																																						
代表者が自ら得た情報																																									
燃料消費の少ないなど、工事の特性によってCO ₂ 排出量は大きく左右されるが、地道に活動計画を実施していくことが大事である。																																									